

プレスリリース

1978 展

2026年 7月 11日（土） - 8月 22日（土）

東京画廊+BTAP | 東京

オープニングレセプション | 7月 11日（土） 16:00 -

このたび、東京画廊+BTAP では「1978」展を開催いたします。本展は、故石原悦郎氏が開廊した日本初の写真専門
コマーシャルギャラリー、ZEIT-FOTO SALON（ツァイト・フォト・サロン）所蔵作品のグループ展です。日本に
「アートとしての写真」という概念を広め、日本人作家の発掘にも尽力し続けた石原氏へのオマージュとして、同ギ
ャラリーが設立された年 —— 「1978」をタイトルに掲げています。

当時一線で活躍していた森山大道、荒木経惟、北井一夫、また、当時は新進作家であり後に木村伊兵衛賞を受賞する
柴田敏雄、畠山直哉、松江泰治など、石原氏が手がけた 18 名の写真作品がギャリースペースに一堂に並びます。
情報化されたイメージが氾濫し、フェイク画像が跋扈する今日、本展が、現実との摩擦から作られた写真に立ち戻る
機会となれば幸いです。

また会期最終日の 8 月 22 日（土） 15 時より、クロージングイベントとして、美術評論家・同志社大学グローバル地
域文化学部教授の清水穰氏をお招きし、トークセッションを行います。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

本展開催にあたり、ZEIT-FOTO kunitachi の皆様、木本禎一氏（テンポラリー・コンテンポラリー）には多大なるご
協力を賜りました。心より御礼申し上げます。

出品アーティスト

荒木経惟、石内都、北井一夫、郷津雅夫、柴田敏雄、杉浦邦恵、須田一政、清家富夫、丹野章、土田ヒロミ、橋本照
嵩、畠山直哉、服部冬樹、林隆喜、松江泰治、森山大道、渡辺兼人、渡辺眸

ZEIT-FOTO SALON について

ZEIT-FOTO SALON（ツァイト・フォト・サロン）は、写真を美術品として取り扱う日本初のコマーシャルギャラリ
ーとして、1978 年に東京・日本橋に開廊しました。創設者の石原悦郎は、アンリ・カルティエ=ブレッソン、ブラッ
サイなど欧米の作家と交流し、彼らから直接オリジナルプリントを購入しました。また、荒木経惟や森山大道といっ
た日本を代表する写真家を世界に送り出しました。

一生涯を芸術に捧げた石原は、写真に限らず、絵画や SP レコードの収集家としても知られ、質・量ともに優れたコ
レクションを築き上げました。現在は、ZEIT-FOTO kunitachi として国立市の旧石原邸を事務所とし、「石原コレク
ション」の管理・運営・販売を行っています。

東京画廊+BTAP

e-mail: info@tokyo-gallery.com / website: www.tokyo-gallery.com

開廊時間 | (火-土) 12:00-18:00

休廊日 | 日、月、祝

*8月9日（日）～17日（月）は、夏季休業のため休廊いたします。

東京画廊+BTAP | 東京

〒104-0061 東京都中央区銀座 8-10-5 第4 秀和ビル7階

TEL: 03-3571-1808 / FAX: 03-3571-7689

www.tokyo-gallery.com



石内都、1・9・4・7 #15 (1988-9)、
ゼラチンシルバープリント、77 × 105.5 cm



柴田敏雄、静物 (1988)、
ゼラチンシルバープリント、19.3 × 24.4 cm



須田一政
《物草拾遺》より、東京・台東区小島 (1981)、
ゼラチンシルバープリント、42.6 × 42.6 cm (image)



渡辺眸、《天竺》より、インド・カシミア (1972)、
ゼラチンシルバープリント、16.9 × 25.4 cm (image)